

子どもたちの健康と人権を守る学びに関する提言

— 包括的性教育の継続と充実に向けて —

五常小学校 学校運営協議会
保健人権部会

01 はじめに

子どもたちを取り巻く社会環境は大きく変化しており、インターネットやSNSの普及により、多様な性情報に触れる機会が増えています。このような時代において、子どもたちが自分や相手を大切にしながら安心して成長していくためには、身体の知識だけでなく、人間関係や自己肯定感、いのちの理解を含めた包括的性教育の視点が重要であると考えられます。

02 今年度の取り組み

今年度、保健人権部会では包括的性教育をテーマの一つとして、①養護教諭による性教育授業の見学 ②外部講師による講演会 ③養護教諭・専門職との対話 ④活動情報誌「おくりもの」の発行 ⑤全校保護者、地域住民によるアンケート集計 を通して、学校・家庭・地域がともに学び、考える機会を重ねてきました。

講演会では、学習指導要領における「はじめ規定」や包括的性教育について理解を深めるとともに、保護者や地域住民を交えた意見交換を行いました。

その後、全校保護者、地域住民、教職員を対象にアンケートを実施した結果、性教育についてすべての回答者が「必要である」と回答しており、段階的な取り組みを通して性教育の必要性についての認識が広く共有されていることが確認されました。

また、「はじめ規定を超えて性交について扱うこと」についても、学校で取り扱うことを望む声が多く見られました。

03 包括的性教育の重要性

今年度の取り組みとアンケート結果から、子どもたちの健康と人権を守る学びとして、包括的性教育を学校教育の中で継続的に実施していくことの重要性が改めて確認されました。

包括的性教育は、単に生殖の知識を学ぶものではなく、

- ・自分を大切にすること
- ・相手を尊重すること
- ・境界線の理解
- ・いのちの理解
- ・安全に成長するための判断力
- を育てる学びとして位置づけられるものです。

また、家庭だけでは伝えることが難しいと感じている保護者が多く、学校における学びへの期待が大きいことも明らかになりました。子どもからの疑問への向き合い方や、発達段階に応じた伝え方について不安を感じている保護者も多く、専門的な知識をもつ養護教諭や外部専門家による学びの機会を通して、すべての子どもが等しく正しい知識に触れられる環境を整えることの重要性がうかがえました。

04 来年度に向けて

子どもたちの発達段階に応じて、包括的性教育の視点をどのように教育活動の中に位置づけ、継続していくかは、今後も大切にしていきたい教育のテーマの一つであると考えられます。

養護教諭や外部専門家による学びの機会は、子どもたちの理解を支える重要な教育実践となっており、こうした取り組みが養護教諭を中心に学校全体の教職員で共有されながら、今後も継続していくことを期待しています。

また、講演会での意見交換や保護者アンケートを通して理解が共有されたことを踏まえ、性交や妊娠に至る過程についても、家庭の理解と協力のもと、学校教育の中で段階的に扱われていくことが望まれます。

05 提言

学校運営協議会保健人権部会として、包括的性教育の視点を大切にしながら、来年度の教育活動において次の点について検討を進められることを提案します。

- ・発達段階に応じた包括的性教育の計画的な実施
- ・妊娠に至る過程の学校での教育の実施
- ・養護教諭および外部専門家と連携した学習機会の充実
- ・保護者への情報共有と学びの機会づくり
- ・学校・家庭・地域がともに包括的性教育について継続的に対話を重ねていくこと

06 おわりに

今年度、包括的性教育を子どもたちの健康と人権を守る学びとして、学校において様々な教育実践が積み重ねられてきたことに感謝申し上げます。

今後もこの学びが、学校・家庭・地域の協働のもとで着実に育まれていくことを期待しています。